

シラバスの内容		想定される教育内容の例	
ねらい	含まれるべき事項		
		○ 社会集団及び組織	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会集団の概念、第一次集団、第二次集団、ゲゼルシャフト、ゲマインシャフト、アソシエーション、組織の概念、官僚制 ・ その他
		○ 家族	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家族の概念、家族の変容、家族の構造や形態、家族の機能 ・ 世帯の概念 ・ その他
		○ 生活の捉え方	<ul style="list-style-type: none"> ・ ライフステージ ・ 生活時間 ・ 消費 ・ 生活様式、ライフスタイル ・ 生活の質 ・ その他
		○ 社会関係と社会的孤立	
		○ 社会的行為	
		○ 社会的役割	
○ 社会的ジレンマ			
② 生活の理解		○ 社会問題の捉え方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会病理、逸脱 ・ その他
③ 人と社会の関係		○ 具体的な社会問題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 差別、貧困、失業、自殺、犯罪、非行、公害、社会的排除、ハラスメント、DV、児童虐待、いじめ、環境破壊 ・ その他
④ 社会問題の理解			

1-d 現代社会と福祉(60時間)

シラバスの内容		想定される教育内容の例	
ねらい	含まれるべき事項		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 現代社会における福祉制度の意義や理念、福祉政策との関係について理解する。 ・ 福祉の原理をめぐる理論と哲学について理解する。 ・ 福祉政策におけるニーズと資源について理解する。 ・ 福祉政策の課題について理解する。 ・ 福祉政策の構成要素(福祉政策における政府、市場、家族、個人の役割を含む。)について理解する。 ・ 福祉政策と関連政策(教育政策、住宅政策、労働政策を含む。)の関係について理解する。 ・ 相談援助活動と福祉政策との関係について理解する。 	① 現代社会における福祉制度と福祉政策	○ 福祉制度の概念と理念	
		○ 福祉政策の概念と理念	
		○ 福祉制度と福祉政策の関係	
		○ 福祉政策と政治の関係	
		○ 福祉政策の主体と対象	
		○ 福祉の原理をめぐる理論	
		○ 福祉の原理をめぐる哲学と倫理	
		○ 前近代社会と福祉	・ 救貧法、慈善事業、博愛事業、相互扶助
			・ その他
		○ 近代社会と福祉	・ 第二次世界大戦後の窮乏社会と福祉、経済成長と福祉
			・ その他
		○ 現代社会と福祉	・ 新自由主義、ポスト産業社会、グローバル化、リスク社会、福祉多元主義
		・ その他	
	④ 福祉政策におけるニーズと資源	○ 需要とニーズの概念	・ 需要の定義、ニーズの定義
		○ 資源の概念	・ その他
			・ 資源の定義
			・ その他

シラバスの内容		想定される教育内容の例	
ねらい	含まれるべき事項		
	⑤ 福祉政策の課題	○ 福祉政策と社会問題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 貧困、孤独、失業、要援護（児童、高齢、障害、寡婦）、偏見と差別、社会的排除、ヴァルネラビリティ、リスク ・ その他
		○ 福祉政策の現代的課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会的包摂、社会連帯、セーフティネット ・ その他
		○ 福祉政策の課題と国際比較（国際動向を含む。）	
	⑥ 福祉政策の構成要素	○ 福祉政策の論点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 効率性と公平性、必要と資源、普遍主義と選別主義、自立と依存、自己選択とパターンリズム、参加とエンパワーメント、ジェンダー、福祉政策の視座 ・ その他
		○ 福祉政策における政府の役割	
		○ 福祉政策における市場の役割	
		○ 福祉政策における国民の役割	
		○ 福祉政策の手法と政策決定過程と政策評価	
		○ 福祉供給部門	<ul style="list-style-type: none"> ・ 政府部門、民間（営利・非営利）部門、ボランティア部門、インフォーマル部門 ・ その他

シラバスの内容		想定される教育内容の例	
ねらい	含まれるべき事項		
		○ 福祉供給過程	・ 公私(民)関係、再分配、割当、 行財政、計画 ・ その他
		○ 福祉利用過程	・ スティグマ、情報の非対称性、 受給資格とシティズンシップ ・ その他
	⑦ 福祉政策と関連政策	○ 福祉政策と教育政策	
		○ 福祉政策と住宅政策	
		○ 福祉政策と労働政策	
	⑧ 相談援助活動と福祉政策 の関係	○ 福祉供給の政策過程と実 施過程	

1-e 社会調査の基礎(30時間)

シラバスの内容		想定される教育内容の例	
ねらい	含まれるべき事項		
<ul style="list-style-type: none"> 社会調査の意義と目的及び方法の概要について理解する。 統計法の概要、社会調査における倫理や個人情報保護について理解する。 量的調査の方法及び質的調査の方法について理解する。 	① 社会調査の意義と目的	○ 社会調査の意義と目的	
	② 統計法	○ 社会調査の対象	
	③ 社会調査における倫理	○ 統計法の概要	
	④ 社会調査における個人情報保護	○ 社会調査における倫理	
	⑤ 量的調査の方法	○ 社会調査における個人情報保護	
		○ 全数調査と標本調査	<ul style="list-style-type: none"> 母集団、標本、標本抽出 その他
		○ 横断調査と縦断調査	
		○ 自計式調査と他計式調査	
		○ 測定	<ul style="list-style-type: none"> 測定の水準、測定の信頼性と妥当性 その他
		○ 質問紙の作成方法と留意点	<ul style="list-style-type: none"> ダブルバーレル質問、パーソナルな質問とインパーソナルな質問 その他
		○ 調査票の配布と回収	<ul style="list-style-type: none"> 訪問面接調査、郵送調査、留め置き調査 その他

シラバスの内容		想定される教育内容の例	
ねらい	含まれるべき事項		
	⑥ 質的調査の方法	○ 量的調査の集計と分析	<ul style="list-style-type: none"> ・ コーディング ・ 単純集計と記述統計、質的データの関連性(クロス集計)、量的データの関連性(散布図、相関と回帰) ・ その他
		○ 観察法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 非参与観察法、参与観察法、統制的観察法 ・ その他
		○ 面接法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自由面接法、構造化面接、半構造化面接 ・ その他
		○ 質的調査における記録の方法と留意点	
		○ 質的調査のデータの整理と分析	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調査結果の図表化、グラウンデッドセオリーアプローチ ・ その他
	⑦ 社会調査の実施にあたってのITの活用方法		

2-a 相談援助の基盤と専門職(60時間)

シラバスの内容		想定される教育内容の例	
ねらい	含まれるべき事項		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉士の役割(総合的かつ包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発含む)と意義について理解する。 ・ 精神保健福祉士の役割と意義について理解する。 ・ 相談援助の概念と範囲について理解する。 ・ 相談援助の理念について理解する。 ・ 相談援助における権利擁護の意義と範囲について理解する。 ・ 相談援助に係る専門職の概念と範囲及び専門職倫理について理解する。 ・ 総合的かつ包括的な援助と多職種連携の意義と内容について理解する。 	① 社会福祉士の役割と意義	○ 社会福祉士及び介護福祉士法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定義、義務 ・ 法制度成立の背景 ・ 法制度見直しの背景 ・ その他
	② 精神保健福祉士の役割と意義	○ 社会福祉士の専門性 ○ 精神保健福祉士法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定義、義務 ・ その他
	③ 相談援助の概念と範囲	○ 精神保健福祉士の専門性 ○ ソーシャルワークに係る各種の国際定義	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国際ソーシャルワーカー連盟(IFSW)の定義 ・ その他
	④ 相談援助の理念	○ ソーシャルワークの形成過程	<ul style="list-style-type: none"> ・ 慈善組織協会 ・ セツルメント運動 ・ その他
		○ 人権尊重	
		○ 社会正義	
		○ 利用者本位	
		○ 尊厳の保持	
		○ 権利擁護	
		○ 自立支援	
	○ 社会的包摂		
	○ ノーマライゼーション		

シラバスの内容		想定される教育内容の例	
ねらい	含まれるべき事項		
	⑤ 相談援助における権利擁護の意義	○ 相談援助における権利擁護の概念と範囲	
	⑥ 相談援助に係る専門職の概念と範囲	○ 相談援助専門職の概念と範囲	
		○ 福祉行政等における専門職	・ 福祉事務所の現業員、査察指導員、社会福祉主事、児童福祉司、身体障害者福祉司、知的障害者福祉司 ・ その他
		○ 民間の施設・組織における専門職	・ 施設長、生活相談員、社会福祉協議会の職員、地域包括支援センターの職員 ・ その他
		○ 諸外国の動向	
	⑦ 専門職倫理と倫理的ジレンマ	○ 専門職倫理の概念	
		○ 倫理綱領	・ 社団法人日本社会福祉士会倫理綱領、その他職能団体の倫理綱領、国際ソーシャルワーカー連盟(IFSW)倫理綱領 ・ その他
	⑧ 総合的かつ包括的な援助と多職種連携(チームアプローチ含む)の意義と内容	○ 倫理的ジレンマ	
○ ジェネラリストの視点に基づく総合的かつ包括的な援助の意義と内容			
		○ ジェネラリストの視点に基づく多職種連携(チームアプローチ)の意義と内容	

2-b 相談援助の理論と方法(120時間)

シラバスの内容		想定される教育内容の例	
ねらい	含まれるべき事項		
<ul style="list-style-type: none"> 相談援助における人と環境との相互作用に関する理論について理解する。 相談援助の対象と様々な実践モデルについて理解する。 相談援助の過程とそれに係る知識と技術について理解する(介護保険法による介護予防サービス計画、居宅サービス計画や施設サービス計画及び障害者自立支援法によるサービス利用計画についての理解を含む。) 相談援助における事例分析の意義や方法について理解する。 相談援助の実際(権利擁護活動を含む。)について理解する。 	① 人と環境の相互作用	○ システム理論	<ul style="list-style-type: none"> 一般システム理論、サイバネティクス、自己組織性 その他
	② 相談援助の対象	○ 相談援助の対象の概念と範囲	
	③ 様々な実践モデルとアプローチ	○ 治療モデル	
		○ 生活モデル	
		○ ストレングスモデル	
		○ 心理社会的アプローチ	
		○ 機能的アプローチ	
		○ 問題解決アプローチ	
④ 相談援助の過程	○ 課題中心アプローチ		
	○ 危機介入アプローチ		
	○ 行動変容アプローチ		
	○ エンパワメントアプローチ		
	○ 受理面接(インテーク)	<ul style="list-style-type: none"> インテークの意義、目的、方法、留意点、方法 その他 	
	○ 事前評価(アセスメント)	<ul style="list-style-type: none"> アセスメントの意義、目的、方法、留意点 その他 	

シラバスの内容		想定される教育内容の例	
ねらい	含まれるべき事項		
		○ 支援の計画(プランニング)	<ul style="list-style-type: none"> ・ プランニングの意義、目的、留意点、方法 ・ 支援方針・内容の説明・同意 ・ 介護予防サービス計画 ・ 居宅サービス計画 ・ 施設サービス計画 ・ サービス利用計画 ・ その他
		○ 支援の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 支援の意義、目的、方法、留意点 ・ その他
		○ 経過観察(モニタリング)と評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ モニタリングと評価の意義、目的、留意点、方法 ・ その他
		○ 支援の終結と効果測定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 支援の終結と効果測定の目的、留意点、方法 ・ その他
		○ アフターケア	<ul style="list-style-type: none"> ・ アフターケアの目的、留意点、方法 ・ その他
	⑤ 相談援助における援助関係	○ 援助関係の意義と概念	
		○ 援助関係の形成方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニケーションとラポール、自己覚知 ・ その他
	⑥ 相談援助のための面接技術	○ 相談援助のための面接技術の意義、目的、方法、留意点	

シラバスの内容		想定される教育内容の例	
ねらい	含まれるべき事項		
	⑦ ケースマネジメントとケアマネジメント	○ ケースマネジメントとケアマネジメントの意義、目的、方法、留意点	
	⑧ アウトリーチ	○ アウトリーチの意義、目的、方法、留意点	
	⑨ 相談援助における社会資源の活用・調整・開発	○ 社会資源の活用・調整・開発の意義、目的、方法、留意点	
	⑩ ネットワーキング(相談援助における多職種・多機関との連携を含む。)	○ ネットワーキング(相談援助における多職種・多機関との連携を含む。)の意義、目的、方法、留意点 ○ 家族や近隣その他の者とのネットワーキング、サービス提供者間のネットワーキング、その他 ○ ケア会議の意義と留意点	
	⑪ 集団を活用した相談援助	○ 集団を活用した相談援助の意義、目的、方法、留意点 ○ グループダイナミックス、自助グループ、その他	
	⑫ スーパービジョン	○ スーパービジョンの意義、目的、留意点、方法	
	⑬ 記録	○ 記録の意義、目的、方法、留意点	
	⑭ 相談援助と個人情報の保護の意義と留意点	○ 個人情報保護法の運用	
	⑮ 相談援助における情報通信技術(IT)の活用	○ IT活用の意義と留意点 ○ ITを活用した支援の概要	

シラバスの内容		想定される教育内容の例	
ねらい	含まれるべき事項		
	⑩ 事例分析	○ 事例分析の意義、目的、方法、留意点	
	⑪ 相談援助の実際(権利擁護活動を含む。)	○ 社会的排除、虐待、家庭内暴力(D.V)、ホームレスその他の危機状態にある事例及び集団に対する相談援助事例(権利擁護活動を含む。)	

3-a 地域福祉の理論と方法(60時間)

シラバスの内容		想定される教育内容の例		
ねらい	含まれるべき事項			
<ul style="list-style-type: none"> 地域福祉の基本的考え方(人権尊重、権利擁護、自立支援、地域生活支援、地域移行、社会的包摂等を含む。)について理解する。 地域福祉の主体と対象について理解する。 地域福祉に係る組織、団体及び専門職の役割と実際について理解する。 地域福祉におけるネットワーク(多職種・多機関との連携を含む。)の意義と方法及びその実際について理解する。 地域福祉の推進方法(ネットワーク、社会資源の活用・調整・開発、福祉ニーズの把握方法、地域トータルケアシステムの構築方法、サービスの評価方法を含む。)について理解する。 	① 地域福祉の基本的考え方	○ 概念と範囲	<ul style="list-style-type: none"> 定義 その他 	
		○ 地域福祉の理念	<ul style="list-style-type: none"> 人権尊重、権利擁護、自立支援、地域生活支援、地域移行、社会的包摂 その他 	
		○ 地域福祉の発展過程		
	② 地域福祉の主体と対象	○ 地域福祉における住民参加の意義		
		○ 地域福祉におけるアウトリーチの意義		
		○ 地域福祉の主体		
	③ 地域福祉に係る組織、団体及び専門職や地域住民	○ 地域福祉の対象		
		○ 社会福祉法		<ul style="list-style-type: none"> 地域福祉の推進 その他
		○ 行政組織と民間組織の役割と実際		<ul style="list-style-type: none"> 地方自治体、社会福祉法人、特定非営利活動法人、社会福祉協議会、民生委員・児童委員、共同募金、自治会、ボランティア組織、企業、生活協同組合、農業協同組合 その他
		○ 専門職や地域住民の役割と実際		<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉士、社会福祉協議会の地域福祉活動専門員、介護相談員、認知症サポーター、その他の者の役割

シラバスの内容		想定される教育内容の例	
ねらい	含まれるべき事項		
	④ 地域福祉の推進方法	○ ネットワーキング(多職種・多機関との連携を含む。)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ネットワーキング(多職種・多機関との連携を含む。)の意義と方法及び実際 ・ その他
		○ 地域における社会資源の活用・調整・開発	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域における社会資源の活用・調整・開発の意義や目的と留意点及びその方法と実際 ・ その他
		○ 地域における福祉ニーズの把握方法と実際	<ul style="list-style-type: none"> ・ 質的な福祉ニーズの把握方法と実際 ・ その他
			<ul style="list-style-type: none"> ・ 量的な福祉ニーズの把握方法と実際 ・ その他
		○ 地域トータルケアシステムの構築方法と実際	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域トータルケアシステムに必要な要素 ・ 地域トータルケアシステムの構築方法と実際 ・ その他
		○ 地域における福祉サービスの評価方法と実際	<ul style="list-style-type: none"> ・ ストラクチャー評価、プロセス評価、アウトカム評価 ・ その他
<ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉サービスの第三者評価事業、ISO、QC活動、運営適正化委員会 ・ その他 			